

## 化学物質の排出量削減

FDKグループでは、事業所内からの化学物質の排出量を抑えて環境負荷の低減を図るとともに、適正に化学物質を取扱うために「化学物質管理規程」を定めて運用しています。生産工程で使用している化学物質については、事業所ごとに使用量、排出量(大気、水域)及び廃棄物に含まれての事業所外への移動量を把握し、環境目標達成に向けた継続的な活動に加え、実態把握の精度向上と代替化による削減活動を進めています。

### 第三期環境行動計画の目標

化学物質(PRTR対象物質)の排出量を、2006年度末までに2001年度実績比で15%削減する。

- ・国内の事業所を対象として、PRTR対象化学物質の排出量を2006年度末までに、2001年度実績比で15%削減する。

### PRTR対象物質の排出量削減

FDKグループでは、PRTR法による対象化学物質(第一種指定化学物質、354物質群)について削減計画を立てて取り組みを進めています。2004年度の国内事業所における化学物質の排出は、トルエンのみの1.74トンで、前年度比では51%の削減となりました。第三期環境行動計画の2001年度の実績比では68%の削減となり、目標を大きく上回り初年度での達成となりました。

トルエンは、製品、治具、設備等の洗浄液として使用しており、揮発したトルエンは大気へ放出されています。削減活動としては、トルエンの代替品での洗浄効果を確認しながら、段階的に切り替えることを中心に行ってきました。

なお、PRTR法では対象化学物質の年間取扱量が1トン以上のものが、行政への報告対象となっていますが、FDKグループでは、0.1トン以上のものから収支管理を行っています。

### PRTR集計結果 2004年度

2004年度の集計結果は、フェライトの生産が海外に移管したことに伴い、『ニッケル化合物』と『コバルト及びその化合物』の取扱量が無くなり、『マンガン及びその化合物』の取扱量が減少しました。

また、鉛の取扱量は、鉛フリー化推進により、7.57トンとなり、昨年度比11%の削減となりました。



鉛フリー対応半田ディップ装置 (湖西工場)

### 国内工場合計 (取扱量100kg以上)

単位: ton/年

化学物質名	取扱量	排出量		移動量		消費量	リサイクル
		大気	水域	廃棄物	下水道		
マンガン及びその化合物	4505.30	0.00	0.00	30.80	0.00	4474.50	0.00
トルエン	4.21	1.74	0.00	2.47	0.00	0.00	0.00
鉛及びその化合物	7.57	0.00	0.00	1.93	0.00	4.92	0.72
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	6.38	0.00	0.00	0.05	0.00	6.33	0.00
ホウ素及びその化合物	1.14	0.00	0.00	0.001	0.00	1.14	0.00
フタル酸ジ-n-ブチル	1.26	0.00	0.00	0.004	0.00	1.26	0.00
銀及びその化合物	0.61	0.00	0.00	0.00	0.00	0.39	0.22
アンチモン及びその化合物	0.40	0.00	0.00	0.04	0.00	0.36	0.00

PRTR\* 「特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律(略称:化学物質排出把握管理促進法)」。企業などが化学物質の排出量および廃棄物としての移動量を行政に報告し、それを公表することにより化学物質・環境汚染物質による環境リスクの削減を図る。2003年3月より施行。Pollutant Release and Transfer Registerの略。